

ゴルフと眼外傷

近年、余暇を楽しむ生活が推奨されてから日本のゴルフ人口は急激に増加し、1200 から 1300 万人といわれている。ゴルファーの年齢分布はほとんどが 25 歳以上で、他のスポーツをやめてしまう年齢でもゴルフをすることができ、中高年ではゲートボールに次いで対象人口の多いスポーツである。また、若年ゴルファーより中高年ゴルファーの方が頻繁にプレーをするため、ゴルフによる眼外傷はスポーツ外傷全体からみた場合はそれほど多くはないが、**中高年の男性においてはゴルフ (23.0%)、テニス (22.2%)、ジョギング (21.0%) といったスポーツによる眼外傷が上位を占める**。中高年には社会的地位も高い人も多く、また、ゴルフ外傷は重篤のことが多いため、障害による社会的損失も大きいと思われる。

ゴルフ外傷の原因としては、ゴルフボール、スイング時の砂や小石、あるいはゴルフクラブによるものである。その中では、ゴルフボールによる事故が多い。ゴルフボールは硬く、重量は 45.93 g、その打球の初速も 300km/時と速いため、ゴルフボールの持つ運動エネルギーは大きく、当たった時の衝撃は大きい。眼球の 1/3 から 1/2 の部分は顔の骨より前方に出ているため、骨が眼球を保護することができず、眼球に直接ゴルフボールがあたった時には重篤な障害が引き起こされると容易に想像される。

ゴルフボールによる眼外傷は同伴プレーヤーによるもの 44.9%、他のプレーヤー 55.1% と意外に他のプレーヤーの打った遠距離の球も多い。至近距離からの打球、多くは打つ人の前あるいは横にいたためにシャンクしたボールにあたった例では特に重傷例が多い。

ゴルフ眼外傷を避けるためには予防が最も大切で、キャディーを含めたパートナーの安全を常に考慮しプレーすることに心掛けなければならない。